



まつもと公設民営バス

～持続可能な地域公共交通へ～

●問い合わせ 公共交通課（東庁舎 4 階 ☎34-3033 📠34-3202）

【市ホームページ】



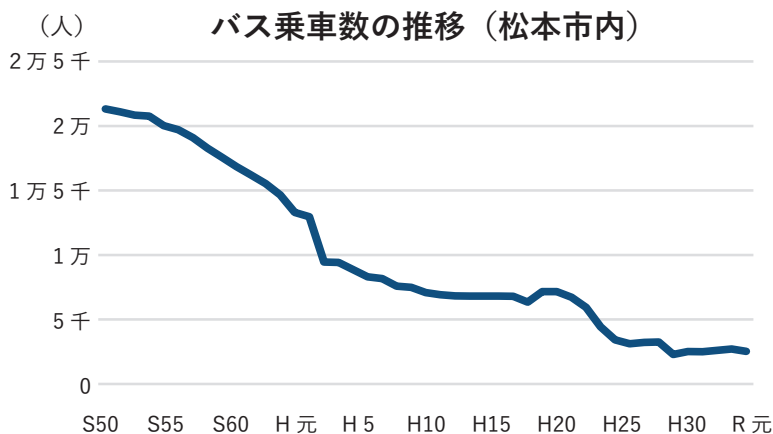
松本市では、行政が路線バスの新しい制度設計や効率的な路線の再編、運賃体系などを設計（マネジメント）し、民間事業者が運行业務やサービスの提供を行い、将来にわたり市民の足を持続可能なものとする、公設民営化事業を進めます。

なぜ今、公設民営化が必要？

利用者が年々減少している路線バス事業は、全国的にも民間事業者だけで維持していくことが困難で、行政が多額の補てんをしています。

松本市の路線バスの利用者数は減少し続けていて、「利用者減」→「収入減」→「減便」「廃線」→「更に利用者減」・・・といった負の連鎖が起きています。

行政が関わり、地域の足をオーバーホール（見直し）することで、地域コミュニティの崩壊を防ぐ狙いもあります。



松本市内を走るバス

（令和4年1月現在）



路線バス（アルピコ交通）

【運行地区】松本市内



市営バス

【運行地区】奈川、四賀



タウンズニーカー

【運行地区】松本駅周辺



地域バス

【運行地区】

入山辺、中山、本郷、波田など



西部地域コミュニティバス

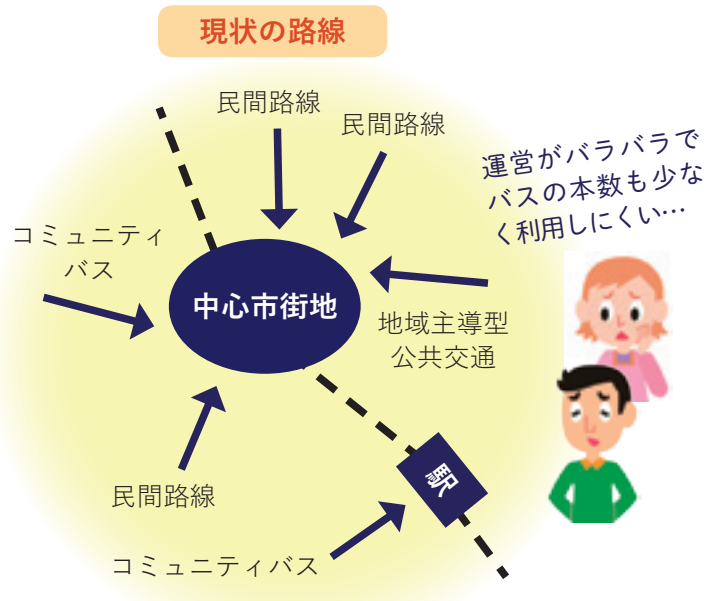
【運行地区】

島内、新村、南松本、新村、梓川、波田、村井、平田

公設民営化でどう変わる？

松本市が路線バス事業に大きく関わることで、**エリア全体を一体的に捉えた交通ネットワークの再編**や**乗り継ぎのしやすさ**など、利便性を向上させて市民の足を確保しながら、将来にわたって路線バスが維持できるようにするものです。具体的には、**利用しやすい運賃体系やキャッシュレス化、利用の少ない路線の廃止**などを行います。

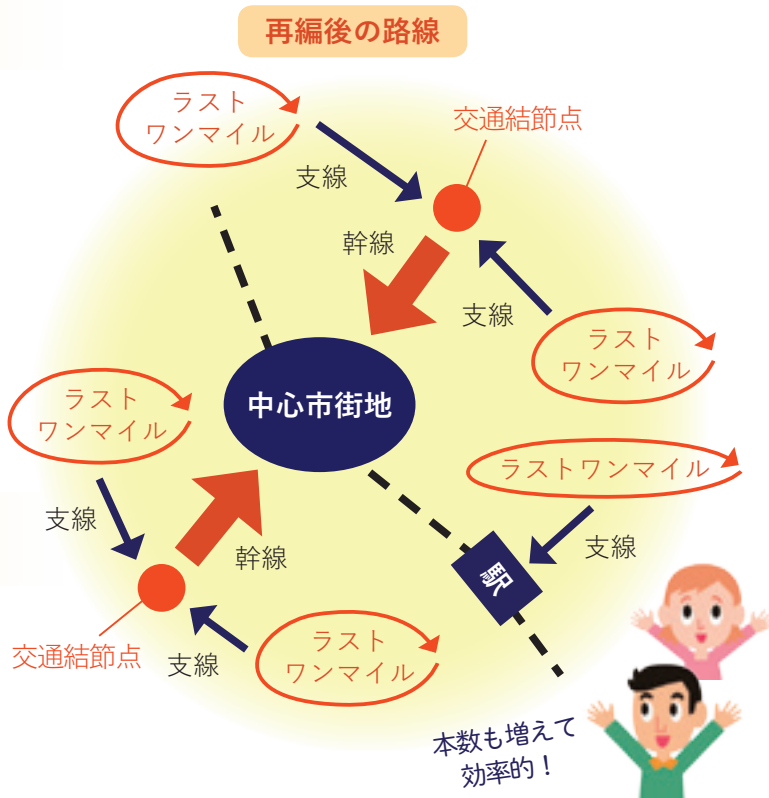
また、地域の皆さんと話し合いながら、地域の実情に合わせたバス以外の少量移送サービスを整備し、皆さんの『**ラスト1（ワン）マイル**』を確保します。



バスを使わない人は関係ない？

いえいえ、そんなことはありません。**将来、自動車の運転ができなくなったとき**にバスがなかったら…と想像してみてください。バス路線を新たに作るのは容易なことではありません。将来を見据えて地域に定着するバス路線を考えることが大切です。

今ある路線を残すためには、ある程度の**乗車数を維持**する必要があります。普段バスを利用しない方も、将来のためにどうしたら利用しやすくなるかということを、今から考える必要があります。



いつから公設民営化になるの？

令和4年3月までに、市民の皆さんからご意見をお聞きし、公設民営化に向けた計画を練ります。その後、新たな運行制度への法的手続きなどを進め、**令和5年4月の運行開始**を目指します。

あなたの「こうした方が良い」を聞かせてください！

申し込み
不要

まつもと公設民営バス 意見交換会

市内6会場で開催します。申し込みは不要です。お気軽に参加いただき、皆さんの要望や意見をお聞かせください。

日時	会場
1月21日(金) 午後6時～	松本市総合社会福祉センター 大会議室
1月24日(月) 午後6時30分～	第3地区公民館 大会議室
1月25日(火) 午後7時～	寿公民館 大会議室
1月26日(水) 午後6時～	波田公民館 大会議室
1月30日(日) 午後1時30分～	岡田公民館 大会議室
2月10日(木) 午後6時～	島内公民館 講堂

宮之本副市長に
お聞かせください

